



木々が美しく紅葉し、「スポーツの秋」「読書の秋」「食欲の秋」など何をするにも気持ちのよい季節を向かえました。また、コロナウイルスの感染状況も落ち着きをみせ、様々な制限も緩和されてきています。引き続き、感染予防の徹底をしながら、様々な活動に取り組んでいくことができればと思っています。

発達障害とは

「発達障害」という言葉を耳にすることが多くなりました。「発達障害」を抱える子どもたちには、周りの理解とサポートが必要です。そこで、「発達障害」がどのような障害で、どのような支援が必要かを取り上げていきたいと思います。

1. 発達障害と疑われる児童生徒

6.5%

平成24年12月文部科学省発表

30人クラスに
2人の割合

文部科学省による発達障害に関する調査では、通常学級の小中学校において、知的に遅れはないものの、学習面や行動面で著しい困難を示すと回答した児童生徒の割合は6.5%でした。これは、30人クラスで考えると、2人が在籍していることになります。



2. 発達障害とは

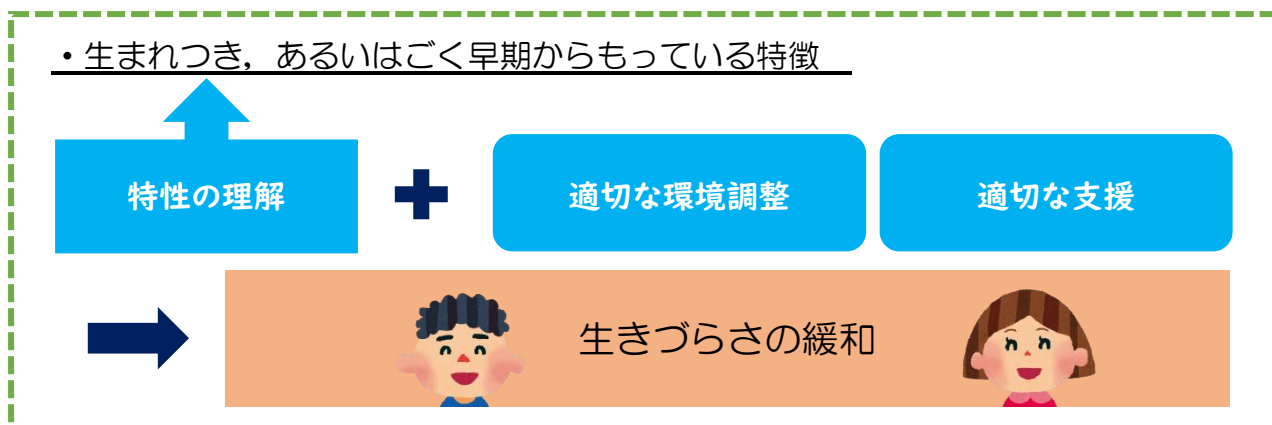
お茶の水女子大 榊原洋一教授

- ・生まれつき、あるいはごく早期からもっている特徴で、その根本的な病理（中枢神経の疾患）はあまり変化なく一生続く。
- ・家庭での養育、学校などの社会的環境の問題のために起きるものではない。
- ・薬物療法などで医学的にその根本的障害を変える治療法はない。

これまで原因がはっきりしなかったために「親の育て方」「本人の性格」「生活環境」のせいと思われ、苦しい思いをしてきたご家族の方が少なくありませんでした。現在では研究が進み、発達障害は生まれつきの障害で脳の機能になんらかの不具合があるために起こり、親の育て方や本人の性格とは無関係であることが分かっています。発達障害は、生まれながらに脳機能に何らかの不具合があることで起こる障害であるため「治る」ということはありません。ある程度の差はあるものの、一生その特性による傾向が続くと考えられます。

「治す」ことを目指すのではなく、成長の過程にあった適切なサポートを行うことが重要となってきます。





まずは、お子さんのもっている特性を理解することから始めます。その上で、特性に応じた適切な環境を整えること、適切な支援を行っていくことが大切です。そうすることで、お子さんの生きづらさを緩和し、その可能性を広げていくことができます。

発達障害は大きく3つのタイプに分けられます

3. 発達障害の種類

① 自閉スペクトラム症/障害（ASD：Autism Spectrum Disorder）

典型的な特性として、「**社会的コミュニケーションと社会的相互関係の質的障害**」「**行動、興味、活動の限定的・反復の様式**」の2つが挙げられます。具体的には、他人とのコミュニケーションがとりにくく、社会的な対人関係を築くのが難しい、活動や興味の範囲が狭く、こだわりが強いことがあげられます。

② 限局性学習症/障害（SLD：Specific Learning Disorder）

文部科学省の定義（1999年）では、「学習障害は基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、**聞く、話す、読む、書く、計算する、または推論するのうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す**さまざまな状態」としています。DSM-5への改訂でLDは、名称が「限局性学習症/障害」（SLD）に変更されました。

③ 注意欠如・多動症/障害（ADHD：Attention Deficit/Hyperactivity Disorder）

よく見られるのは「**不注意**」「**衝動性・多動性**」という主に行動面における特性です。ASDとADHD、ADHDとLDというように種類の異なる発達障害と併存する場合があります。

※米国精神医学会のDSM-5（精神疾患の診断・統計マニュアル第5版）による診断基準より

次号から、それぞれの発達障害について詳しく紹介していきます。



■電話相談 33件 ■訪問相談 9件 ■学校見学 3件 ■研修会 1件

そよかぜ相談では、発達や就学に関する相談を受け付けております。お電話にてお申し込みください。

